

かたせもち うた
片瀬餅つき唄

もち うた
餅つき唄

うた
ねり唄その①

もち とき うた
(餅をねる時に唄う)

1. ヤーレエ^{めでた}目^め出度ヨ目 (アードウシタ) 出度^{でーた}の (アメデタノ) 若^{わか}松^{まつ}様^{さま}よ
ヤーレエ^{えだ}枝^もヨさ (アードウシタ) かえて (アサカエテ) 葉^はも^{しげ}茂る
2. ヤーレエ^{そうしゅうかた}相州片 (アードウシタ) 瀬^せの (カタセノ) 逆^{もと}りの^{まつ}松は
ヤーレエ^{まつ}松はヨ^か枯 (アードウシタ) れても (アカレテモ) 名^なは^{のこ}残る

もち うた
餅つき唄

うた
ねり唄その②

1. ヤレ^{ふじ}富士のナ^{しらゆ}ー白雪^{キャ}ヨオ (アーマダマダ) アレサ^{あさひ}旭^とで溶ける
ヤレ^と溶けてナ^{なが}ー流れてヨオ (アーマダマダ) アレサ^{みしま}三島にそそぐ
2. ヤレ^さ差したナ^{さかず}ー杯^{キャ}ヨオ (アーマダマダ) アレサ^{なかみ}中^み見^みておのみ
ヤレ^{なか}中^なにゃナ^{つるかめ}ー鶴^ヨ亀^オ (アーマダマダ) アレサ^{ごよう}五^{まつ}葉^のの松

かたせもち うた
片瀬餅つき唄

もち うた つき うた つき うた
 餅つき唄 つき唄その① 餅をつく時に唄う

1. めでた や ここの家の棟にや 咲いてソーヤ 黄金のを枝は七枝

咲いてソーヤ 黄金の枝は七枝

2. かたせ むら なが むら まえ うみうし こまつ こばやし
 片瀬の村は長い村 前は海後ろは小松、小林

3. えのしまみ えどみ えどはみた江の島名勝まだ見ぬ

4. ジンジーバンバ寄れば嫁のこと 嫁のこと言わなきやお茶が飲めない

5. かたせ はま めいしょ なもとに一は江の島沖にや姥島

6. えのしままえ もち おと ねのよ一さ音のよ一さ岩にひびける

餅つき唄 つき唄その②

1. ヤレめでたあサ目出たあの(ソレ) 若松様よヤレ枝もおサ榮えて(ソレ) 葉も茂る

2. ヤレそうしゅう かたせ の(ソレ) 逆りの松は ヤレ松はサ枯れても(ソレ) 名は残る

3. ヤレおまえ ひゃく の(ソレ) わしゃ九十九まで ヤレ共に白髪(ソレ) 生えるで

4. ヤレおまえ の 飲んだ暮れじゃ(ソレ) 身上がもたぬ

ヤレ身上どころか(ソレ) 身がもたぬ

5. ヤレむすめ したがる(ソレ) 二親様よ ヤレさせて見たがる(ソレ) 針仕事

6. ヤレそろ 揃たあよ(ソレ) 四本のキネが ヤレ稲の出穂より(ソレ) よく揃た